

【第23回繊維ファッション産学交流会議】

【講師・プロフィール】

《第1部》 講演 (15:10～16:10)

高野 公三子（たかの くみこ）氏 （株）パルコ『ACROSS』編集長

タイトル 定点観測で読み解く「いま」のファッショントレンド



○プロフィール

パルコのファッション&カルチャーのシンクタンク「ACROSS」の代表。共著に「ファッションは語りはじめた～現代日本のファッション批評」（フィルムアート社）、「ジャパニーズデザイナー」（ダイヤモンド社）ほか。日本流行色協会トレンドカラー選考委員、文化学園大学大学院非常勤講師。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科前期博士課程修了。

《第2部》 講演 (16:20～17:20)

松場 登美（まつば とみ）氏 （株）石見銀山生活文化研究所 代表取締役所長

タイトル 流行よりも時代性を追え



○プロフィール

1949年三重県津市生まれ。

1998年に石見銀山生活文化研究所を設立。「群言堂」として商品の企画、製造販売を手がけ、全国の百貨店などで展開している。現在は13年かけて修復した築227年の武家屋敷「他郷阿部家」で、古き良き時代の良さを大切に、新しい価値観を提案する暮らしの場として、宿の営業も行う。

第23回 繊維ファッション産学交流会議

2017年2月9日(木)

京王プラザホテル 錦の間

参加費：¥3,000

ファッションの透視図 ～変わること、変わらないこと～

主 催：繊維ファッション産学協議会

後 援：経済産業省・文部科学省

流行が読めない、トレンドがつかみにくい…ファッションの世界では、こうした傾向が年を追うごとに強まっています。それとともにファッション市場でも、ファスト・ファッションをはじめWebショッピングの台頭などによって状況が大きく様変わりし、誰もが時代の変革を実感。解決の糸口を模索しています。

繊維ファッション産学交流会議は23回目を迎えますが、これまでもファッションの潮流を知る手立てとして、さまざまな分野で活躍するフロンランナーに登壇していただきました。今回も、「変わること、変わらないこと」というテーマに相応しいお二人に講演をお願いしました。そこで、あらためて“時代性”を考え、共有できれば幸甚です。

【主催者挨拶】 (15:00～15:10)

繊維ファッション産学協議会 理事長 廣内 武 (ひろうち たけし)

【第一部】 (15:10～16:10)

定点観測で読み解く「いま」のファッショントレンド

株式会社パルコ『ACROSS』編集長 高野 公三子(たかの くみこ)氏

【第二部】 (16:20～17:20)

流行よりも時代性を追え

株式会社石見銀山生活文化研究所 代表取締役所長 松場 登美(まつば とみ)氏

【懇親パーティ】 (17:30～)